

住民ら200人集う

春江東部地区フェスタ

p.517

スタンプラリーも実施

アーモンドの里づくりに取り組む坂井市の春江東部地区まちづくり協議会の「アーモンドお花見フェスタ」が二日、同市春江町正蓮花の春江B&G海洋センターであった。地区内を巡るスタンプラリーもあり、地元の春を彩るアーモンドの花見を楽しんだ。

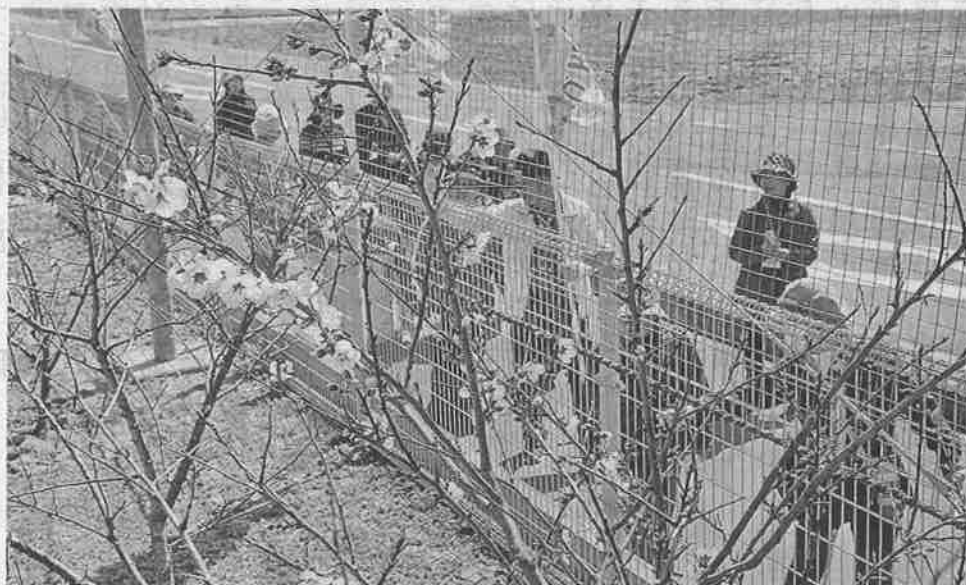
同里づくりは二〇一〇年から取り組んでおり、同センターのほか地区内の春江東小学校、石仏区の水路沿い、正蓮花公園に計三百五十本の木が植えられている。

二回目の同フェスタには地区内から二百人近い住民

が参加。老人クラブ同士の交流を昨年スタートさせた磯部地区老人クラブ連合会との交流も兼ねて、同地区から十九人を招待した。

一周三・七キロ、一時間のスタンプラリーには百人近くが参加。今年は開花が遅れ、濃いピンク色の桜に似た花はまだ三分咲き程度。それでも最初のチェックポイントの春江東小を訪れた磯部地区のお年寄りらは、道路沿いを彩る花を見て「きれい」と歓声を上げていた。会場では、オカリナ演奏などステージイベントやディスクゴルフなどを楽しんでいた。(中田誠司)

アーモンドの花に歓声



アーモンドの花を眺めながら散策する磯部地区のお年寄りら＝坂井市春江東小学校グラウンドで